
【伊賀地区の青少年が熱い想いを発表！～第50回全国青年農業者会議～】

3月1日（火）～3日（木）にかけて、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、「第50回全国青年農業者会議」が開催されました。この会議は、全国から集まった若手農業者が、経営改善や地域の活性化などに資する取組を発表しあうとともに、全国の仲間づくりを通じて、次代の日本農業を担う農業者の資質向上と仲間の輪を広げることを目指すものです。

会議では、日ごろの経営課題を解決する取組である「プロジェクト発表」、地域農業への想いや農業の将来への提言を発表する「意見発表」、全国から選定された優良活動事例である「優秀農業青年クラブ活動事例発表」などが行われました。

本会議に先立ち、全国のブロックごとに発表事例が選定されており、東海ブロック（愛知・岐阜・三重）の「意見発表」部門代表として、伊賀地区の奥田能己さんが「Japanism Agriculture ～名張から日本農業の元気を取り戻せ！～」と題して発表を行いました。奥田さんは、地域の農業を元気にするために、食育支援や耕作放棄地解消を行う取組について、熱い口調で語りかけました。残念ながら受賞は逃がしたものの、審査員からは取組内容に対する賞賛の声が上がりました。奥田さんの熱い想いが全国の仲間の心に響き、さらに大きな輪が広がることを期待しています。



（意見発表を行う奥田さん）



（会場の様子）